

さりげなく、ともに生きる!!
「おもいやりの町、しもすわ」をめざして。

2015年5月号
No.215

社協だより

発行人・渡邊末廣 編集・社会福祉法人下諏訪町社会福祉協議会



オルニコットちゃん

下諏訪町社会福祉協議会
キャラクター

下諏訪町社会福祉協議会 理事会・評議員会

平成27年度の事業計画、予算などを3月27日(金)、住民の皆様の代表者で組織されている理事会、評議員会においてご審議をいただき、承認していただきました。

1、平成27年度 基本方針(抜粋)

下諏訪町は、高齢化率が高くなってきています。その中で、ひとり暮らし世帯や高齢者のみの世帯も増加しています。近年は、認知症による帰宅困難や高齢者等の孤立死が社会問題となってきており、テレビドラマなどにも取り上げられるようになってきています。このような問題が身近な課題となっている今、改めて地域において近隣同士の気配り、支え合いが大切になってきています。超高齢化社会が安定して進展できるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政・福祉関係機関との連携を図りながら協力していきます。

また、地震、集中豪雨や土砂災害等に備えて、非常時用品の整備や備蓄、災害弱者に対する支援が重要であり、これらに対応することも社会福祉協議会の役割と考えます。

会費の減収など、運営面でも厳しさがありますが、キャラクター「オルニコットちゃん」の笑顔が増えますように、地域社会とのつながりを大切に、「おもいやりの町しもすわ」を目指して、地域力の向上に努め、住民主体の地域福祉を推進してまいります。



男の居場所づくり事業「料理教室」

社会福祉法人 下諏訪町社会福祉協議会の役員及び評議員の皆様です。平成27年4月1日現在

役職名	氏 名	属 職 名	役職名	氏 名	属 職 名	役職名	氏 名	属 職 名
顧問	青 木 悟	町 長	監 事	吉 澤 計 一	町 会 計 管 理 者	評 議 員	濱 康 幸	商 工 会 議 所 会 頭
会 長	渡 邊 末 廣	学 識 経 験 者	評 議 員	小 沢 貞 義	町 教 育 長	評 議 員	山 岡 祐 司	町 小 中 学 校 校 長 会
副 会 長	一 村 幸 正	福 祉 委 協 会 長	評 議 員	山 田 英 明	町 総 務 課 長	評 議 員	小 口 久 輝	青 少 協 会 長
副 会 長	志 村 美 津 子	学 識 経 験 者	評 議 員	高 橋 良 司	町 教 育 こ 道 課 長	評 議 員	有 井 嘉 元	衛 生 自 治 会 連 合 会 長
常 務 理 事	増 澤 功 生	町 健 康 福 祉 課 長	評 議 員	唐 木 賢 伸	福 祉 委 協 専 門 部 会 長	評 議 員	木 下 真 理 子	町 医 師 会 幹 事
理 事	藤 森 ス マ エ	町 議 会 生 活 文 教 常 任 委 員 長	評 議 員	中 山 妙 子	〃	評 議 員	小 松 正 隆	町 歯 科 医 師 会 幹 事
理 事	小 松 新 平	福 祉 委 協 副 会 長	評 議 員	有 賀 せ づ 子	〃	評 議 員	亀 割 英 人	保 育 所 保 護 者 会 長
理 事	大 橋 み つ る	〃	評 議 員	田 中 幹 三	〃	評 議 員	藤 森 勝 美	諏 訪 地 区 保 護 司 会 下 諏 訪 分 区 長
理 事	小 日 向 和 彦	ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 会 長	評 議 員	奥 村 守	第 1 区 区 長	評 議 員	小 松 保 美	遺 族 会 長
理 事	荒 木 小 由 美	町 教 育 委 員 長	評 議 員	倉 科 孝 雄	第 4 区 区 長	評 議 員	松 尾 則 子	更 生 保 護 女 性 会 会 長
理 事	山 田 貞 幸	町 区 長 会 会 長	評 議 員	久 保 田 俊 樹	第 5 区 区 長	評 議 員	吉 江 和 雄	手 を つ な ぐ 育 成 会 会 長
理 事	金 丸 芳 久	町 区 長 会 副 会 長	評 議 員	谷 口 幸 雄	第 6 区 区 長	評 議 員	高 木 寛 子	介 護 保 険 利 用 関 係 者
理 事	武 居 洋 子	連 合 婦 人 会 会 長	評 議 員	山 田 榮 一	第 7 区 区 長	評 議 員	下 條 知 子	保 健 補 導 連 合 会 会 長
理 事	宮 坂 邦 彦	高 齢 者 ク ラ ブ 連 合 会 会 長	評 議 員	松 澤 等	第 8 区 区 長	評 議 員	鈴 木 浩 二 郎	グ レ イ ス フ ル 特 養 施 設 長
理 事	朝 貝 芳 美	信 濃 医 療 福 祉 セ ン タ ー 所 長	評 議 員	帯 川 清 長	第 9 区 区 長	評 議 員	沖 山 亘	ハ イ ム 天 白 所 長
監 事	松 崎 茂 彦	町 議 会 議 員	評 議 員	吉 澤 一 人	第 10 区 区 長			

平成27年度の事業項目及び予算について

1. 社会福祉事業

収入

項 目	説 明	金 額
会 費 収 入	個人会員千円、特別会員1万円	7,200千円
寄 附 金 収 入	遺志金、その他寄付金	2,500千円
補 助 金 収 入	法人運営やボランティア事業等に対する町からの補助金	16,023千円
共同募金配分金収入	赤い羽根共同募金からの配分金	1,920千円
受 託 金 収 入	介護保険認定外のホームヘルプサービス委託金や外出支援、介護者交流事業など、町からの事業委託金	10,066千円
貸付事業収入	生活保護費一時立替事業償還金	200千円
事 業 収 入	老人福祉センター事業・福祉有償運送サービス事業等の利用料等	4,302千円
居宅介護料収入	居宅介護支援事業・訪問介護事業・訪問入浴介護事業の介護報酬収入	79,012千円
障害福祉サービス等事業収入	障害者総合支援法の利用料	10,281千円
相談支援料収入	指定特定相談支援事業報酬収入	1,500千円
受取利息配当金収入	基金積立金預金利子等	532千円
雑 収 入	県社協事業の事務費、電話・コピー等の使用料	994千円
拠点区分間繰入金収入	経理区分間繰入金	20,540千円
福祉資金取崩収入	基金の取崩	5,750千円
収 入 計		160,820千円

支出

事業	経理区分	説 明	財 源	金 額
受託事業	在宅介護支援センターサービス区分	基幹型の介護支援センターとして皆さんの相談を受け各機関との連絡調整や、介護予防、生活支援の総合調整	受託金	3,500千円
受託事業	生活管理指導員派遣事業サービス区分	介護保険認定外の方などへのホームヘルプサービス	受託金	1,300千円
受託事業	家族介護者交流事業サービス区分	介護に携わる家族が対象のリフレッシュを目的とした事業	受託金	1,390千円
社協事業	福祉相談事業サービス区分	福祉相談・結婚相談	受託金・会費	714千円
障がい者総合支援	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する事業サービス区分	障がい者のホームヘルプサービス	利用料	10,281千円
社協事業	共同募金配分事業サービス区分	地域福祉活動や、ボランティア、障害者の家族等への支援	配分金	1,920千円
受託事業	福祉有償運送サービス事業サービス区分	車椅子移送車による移動支援	受託金・利用料収入	4,200千円
社協事業	障害者福祉事業サービス区分	障がい者の社会参加支援・身障協や手をつなぐ親の会等への団体補助	補助金・会費	729千円
社協事業	高齢者福祉事業サービス区分	高齢者クラブへの助成、ふれあいいきいきサロン等の運営補助、介護予防事業の実施	会費・事業収入	3,260千円
社協事業	ひとり親家庭応援事業サービス区分	母子父子世帯交流事業・激励事業	事業収入・会費	1,095千円
社協事業	福祉資金貸付事業サービス区分	生活保護費一時立替、生活福祉資金貸付	貸付事業収入	200千円
社協事業	ボランティア活動推進事業サービス区分	ボランティア連絡協議会及びセンターの拡充支援・活動の啓発・福祉教育の推進	補助金・会費	1,438千円
社協事業	有償生活応援サービス事業サービス区分	家事・介護援助サービス、移送、布団消毒乾燥、子育て支援、金銭管理・財産保全サービス	会費・事業収入	968千円
障がい者総合支援	指定特定相談支援事業サービス区分	障がい者の計画相談	補助金・相談支援料収入	7,184千円
介護保険	居宅介護支援事業サービス区分	ケアプランの作成	居宅介護料収入	24,915千円
介護保険	訪問介護事業サービス区分	ホームヘルプサービス	居宅介護料収入	55,445千円
介護保険	指定訪問入浴事業サービス区分	訪問入浴サービス	居宅介護料収入	13,065千円
受託事業	指定管理者サービス区分	老人福祉センターの管理運営	受託金・利用料収入	9,355千円
法人運営	法人本部サービス区分	事務所、事務局の経費・各福祉関係団体に対する補助金	寄附金/会費/補助金	19,861千円
支 出 計				160,820千円

2. 公益事業（下諏訪町地域包括支援センター）

収入

項 目	説 明	金 額
受 託 金 収 入	市町村委託金及び広域連合委託金収入	62,840千円
居 宅 介 護 料 収 入	介護予防プラン作成収入	10,998千円
	拠点区分間繰入金収入	267千円
収 入 計		74,105千円

支出

事業	経理部門	説 明	財源	金 額
受託事業	地域包括支援センター	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な総合相談窓口です。	受託金	49,396千円
介護保険	運営サービス区分	センター運営事業と介護予防事業に区分されています。	居宅介護料収入	11,265千円
受託事業	介護予防サービス区分		受託金	13,444千円
支 出 計				74,105千円

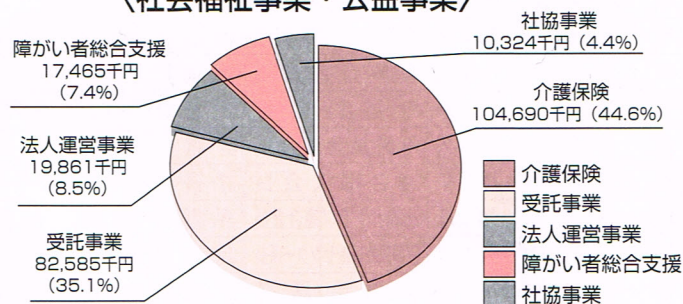
〈事業別の支出内訳〉

平成27年度の総予算額は社会福祉事業1億6,082万円、公益事業7,410万5千円の合計2億3,492万5千円になります。

町補助金、受託金収入などの増額は見込まれますが、介護保険制度改正による減入と新事業の人員費支出増額のため、福祉資金の取崩の予算となっております。

尚、事業別の割合は右記の図のようになります。

〈社会福祉事業・公益事業〉



ボランティア募集

第43回諏訪地区障がい者スポーツ大会

趣 旨：障がい者スポーツ大会の競技・運営の補助等を行っていただくとともに、参加した障がい者との交流を図る。

内 容：スポーツ大会の競技（車いすスラローム、サウンドテーブルテニス他）及び運営補助
※具体的には、参加者の誘導・補助、競技準備。片付け、競技中の計測。ボール拾い、記録整理等

応募方法：平成27年5月7日（木）までに、下諏訪町社会福祉協議会（27-8886）にご連絡ください。取りまとめまして、事務局へ申し込みします。

事務局：長野県諏訪保健福祉事務所 福祉課
57-2911（直通）



社協健康教室ご参加お待ちしております



講 師：講座① 講師：やまびこスケートの森職員 講座② 講師：社協職員

開催時間：午後1時30分～午後2時30分 ※事前申し込み不要

5月

祝日はお休みとなりますので、別日に他会場と合同になります（送迎あります）

日	曜日	講座①やまびこ	講座②社協	日	曜日	講座①やまびこ	講座②社協
1	金	赤砂公会所		16	土		
2	土		午後一時 星が丘・富部・菅野町から送迎が出来ます	17	日		
3	日		午後一時五分 星が丘公会所	18	月		明新館
4	月		午後一時十分 富部公民館	19	火	富部公民館	
5	火		菅野町会館	20	水		
6	水			21	木		萩倉公会所
7	木	萩倉公会所		22	金		清水町公会所
8	金	高木公民館		23	土		
9	土			24	日		
10	日			25	月		高木公民館
11	月	平和館		26	火	社東町公民館	
12	火		社東町公民館	27	水	星が丘公会所	
13	水	明新館		28	木		四王公会所
14	木	四王公会所		29	金		
15	金	菅野町会館		30	土		
				31	日		



湯めぐりバス



利用登録を

お待ちしています

下諏訪町にはたくさんの公衆浴場があります。

せっかく身近にあるんだから、健康維持・向上に利用しない手はありませんよね？

ぜひ、湯めぐりバスを利用して、地元のいい湯を巡ってみませんか。

【利用できる方】 下諏訪町内に居住している60歳以上の方及び障がいのある方（付き添いの方は1名同乗できます）

下諏訪町内に居住している3歳未満の乳幼児及びその保護者

【運行日（予定）】 毎週月曜日・木曜日 【運賃】 無料

【運行経路（予定）】 午前9時 6区発⇒9区⇒7区⇒8区⇒3区⇒5区⇒10区⇒4区⇒2区⇒1区
※町内を回りながら途中で浴場に停車していきます。午後1時頃までを目安に町内を3周しますので、帰りにも湯めぐりバスを利用できます。（運行経路の詳細は、利用登録状況で決定します）

【停車する浴場】 みなみ温泉 湖畔の湯 老人福祉センター 矢木温泉 新湯 旦過の湯 遊泉ハウス児湯 菅野温泉 高浜健康温泉センターゆたん歩

【利用登録のしかた】 社会福祉協議会（27-8886）に連絡してください。

利用登録申請書をお送りしますので、必要事項を記入して社協に提出してください。

利用登録をご希望の方は、早めにご連絡をお願いいたします。
（平成二十七年五月運行開始予定）



バス側面のイラストが目印です

お問い合わせ：下諏訪町社会福祉協議会 社協生活応援センター
場所：下諏訪町162番地4（砥川住宅1階）
電話：27-8886